

本シンポジウムの位置づけと シンポジウム2019の構成について

【内容】

1. センターが目指す地域・社会貢献の姿と
本シンポジウムの位置づけ
2. シンポジウム2019の構成について

2019年10月17日

埼玉県立大学大学院／研究開発センター

川越雅弘

1. センターが目指す地域・社会貢献の姿と 本シンポジウムの位置づけ

1.センターが目指す地域・社会貢献の姿とは

目指す姿

地域包括ケアに関わる人材の育成を通じて、地域・社会に貢献すること



具体的イメージ

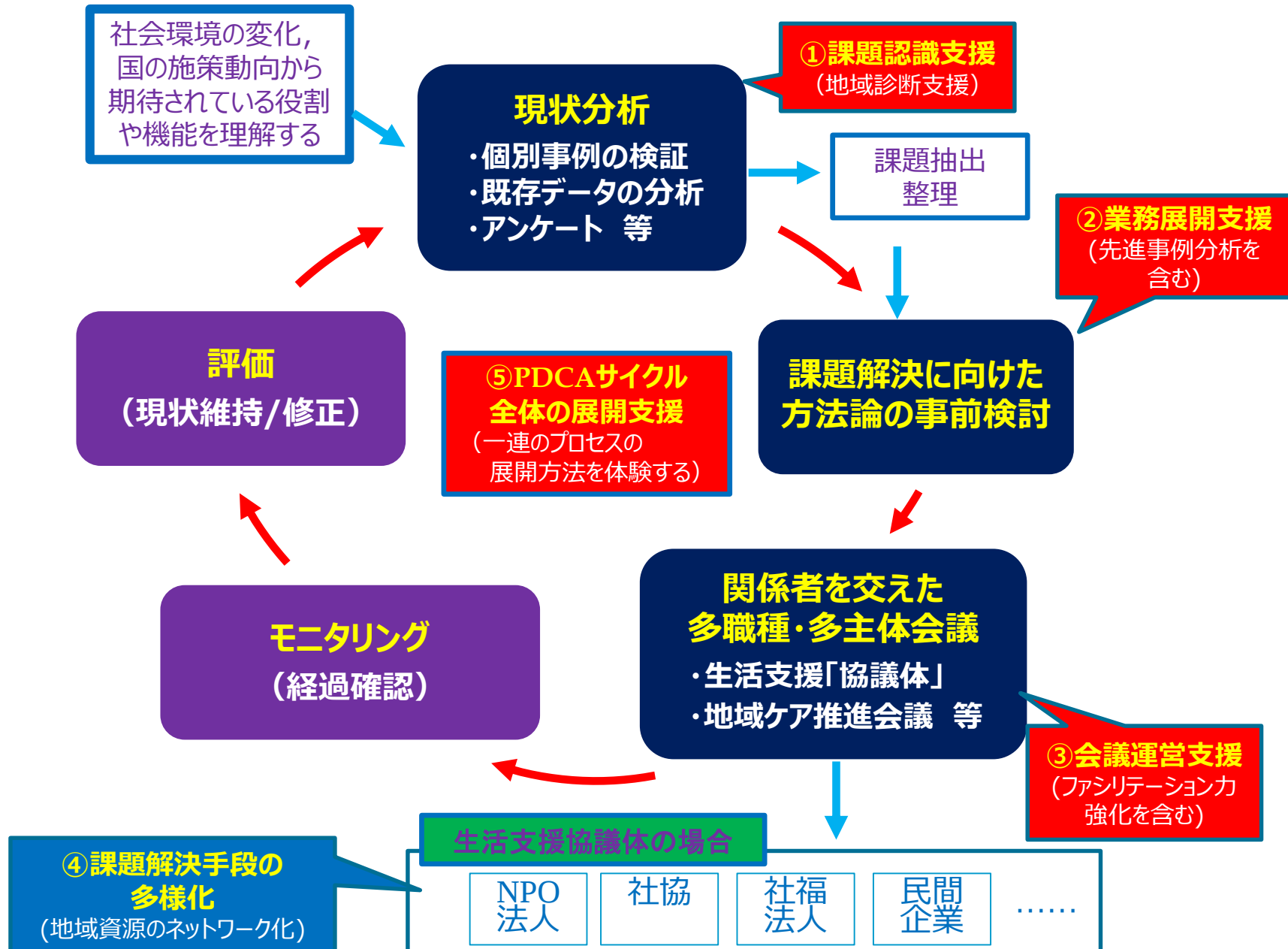
1. 対象について

- 国の重点テーマである地域包括ケアに関わる人材を当面の対象とする。
具体的対象としては、以下を想定する。
 - ① 市町村職員（保健師等を含む）
 - ② コーディネーター（在宅医療／生活支援等）
 - ③ 医療・介護職を想定する。

2. 人材育成の目標とポイントについて

- 人材育成の目標は、地域包括ケアに関する「業務遂行力の向上」。
キーは、「ケース／事業／地域に対するマネジメント力の強化」。
- この実現に向け、以下の2点に主眼を置く
 - ① 本人の業務遂行力を高めること
 - ② 業務が遂行しやすい環境を整備すること（＝ネットワーク構築支援）

2.マネジメント力強化のための支援ポイントとは（市町村を例に）



地域包括ケアに関わる人材育成のための手法

－集合型研修（Off-JT）と現場での直接支援（OJT）を通じた人材育成－

① 集合型研修

研究開発センター シンポジウム（2016～）

【目的】国の施策の動向や方向性、
基本的考え方などを学ぶ

【2018年度】10/6開催

テーマ「地域包括ケアの深化に向けた
諸課題と対応策」

講演者

- 田中 滋：埼玉県立大学理事長
- 迫井正深：厚生労働省審議官
- 斉藤正身：医療法人真正会理事長
- 野崎伸一：厚生労働省生活困窮者
自立支援室長
- 川越雅弘：埼玉県立大学教授

【2019年度】10/17開催

「介護人材の確保・育成に向けた諸課題
と対応策」

地域包括ケア推進セミナー （2018～）

【目的】地域包括ケアに関わる関係者
の実践力を高める

第1回（2018/7/27開催）

「在宅医療・介護連携の展開プロセ
スを学ぼう！」

第2回（2018/11/24開催）

「ファシリテーション力を高める」

第3回（2019/2/21開催）

「自立支援のための方法論を学ぶ」

第4回（2019/6/20開催）

「地域課題の把握方法を学ぶ」

第5回（2019/10/2開催）

「コミュニケーション力を高めよう」

③ 支援体制の整備

地域包括ケアを推進するための ネットワーク会議（2018～）

【目的】地域資源の開発を通じて実践
者への支援体制を強化する

第1回（2018/9/4開催）

今後の進め方に関する打合せ会議

第2回（2018/11/30開催）

「住民の困りごと/支援ニーズを知ろう」

第3回（2019/2/15開催）

「企業・組織の活動内容を知ろう①」

第4回（2019/5/31開催）

「企業・組織の活動内容を知ろう②」

第5回（2019/7/30開催）

「地域課題を解決するためのプロジェ
クトをみんなで考えよう」



② 現場での直接支援

- 介護保険事業計画策定支援（北本市：計画策定業務を受託。川越市：委員としてデータ分析等を支援）
- 地域包括ケア関連業務支援（志木市／北本市：協定を締結し、事業展開ほかの支援を実施）
- 健康寿命の延伸に対する業務支援（加須市：協定を締結予定） など

2. シンポジウム2019の構成について

介護人材の需給バランス改善にむけた主な対策と 本シンポジウムの内容について

主な対策

1. 需要面への対策
 - ・ 介護予防の強化など
2. 供給面への対策
 - ・ 人材の確保と定着
 - ・ 人材の育成
 - ・ 業務改善／業務支援 など

本シンポジウムの内容

1. 「仕組み／施策」関連
 - ・ 国の動向（伊原先生）
 - ・ 県の動向（金子先生）
2. 「機能強化」関連
 - ・ 人材の確保／定着／育成（山田先生、田口先生）
 - ・ 業務改善／業務支援（羽田野先生）



20 埼玉県立大学20周年記念
埼玉県立大学研究開発センターシンポジウム2019

介護人材の確保・育成に向けた 諸課題と対応策

参加費無料

日程 2019年10月17日(木) 13:30~17:10
場所 埼玉県立大学 講堂 (定員400名)

主催 埼玉県立大学研究開発センター

第1部の基調講演では、介護人材の需給ギャップ解消に向けた国の施策の基本的考え方やその対策についてご講演いただきます。
第2部では、県行政や多職種連携を含めた人材育成、認知症AIを活用した生産性向上などに関わっておられる4名のシンポジストにご講演を頂いた後、介護人材の確保・育成や生産性の向上策などについてパネル討論を行います。

第1部 基調講演
「介護人材の需給ギャップ解消に向けた国の施策動向」
伊原 和人氏 厚生労働省 政策統括官(総合政策担当)

第2部 シンポジウム
座長 田中 滋 公立大学法人埼玉県立大学 理事長
「介護人材の確保・育成と需給ギャップ解消に向けて」
講演 金子 直史氏 埼玉福祉部高齢者福祉課課長
山田 尋志氏 地域密着型総合ケアセンターきたおおじ 代表
社会福祉法人リガーレ暮らしの架け橋 理事長
田口 孝行 埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科 教授
羽田野政治氏 一般社団法人認知症高齢者研究所 代表理事

パネルディスカッション